

研究課題名	愛知県下維持血液透析患者の介護ならびに通院状況の調査 【多施設共同研究】
研究期間	倫理委員会承認日 から 2030年12月31日 まで（研究機関は倫理委員会の承認を得たうえで延長される可能性があります）
研究の概要・目的・背景・意義	日本では、現在33万人以上の患者さんが透析治療を受けていて、新たに毎年3万5,000人以上患者さんが透析治療を開始します。人口の高齢化に伴い、透析患者さんも高齢化がすすみ、日本透析医学会の報告によると、2017年末の透析患者さんの平均年齢は68歳を上回っています。透析患者さんは、高齢化に加え、心臓病などの合併症のため日常生活に不自由を感じていることが少なくありません。しかしながら、血液透析スケジュールは、週3回であり、通院に多大なる労力を要する場合があります。これまで、愛知県下の慢性維持透析患者さんにおける日常生活の現状ならびに通院状況に関する調査は実施されていないため、それを把握する目的で本研究を計画しています。
研究の対象	2020年1月時点で、当院において慢性維持透析中の患者さん。
研究に用いる試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、透析導入時年齢、居住環境（家族同居・同居等） ・主たる通院手段（自家用車・公共交通機関・介護タクシー等） ・治療方法（施設血液透析・腹膜透析・血液透析と腹膜透析の併用等） ・糖尿病合併症の有無 ・糖尿病関連自己注射の有無（なし・あり・不明） ・介護度、排便状況（止瀉薬・整腸剤などの服用状況）
研究方法	電子カルテより、患者さんの既存データを収集して診療情報データベースを構築します。
研究における医学倫理的配慮	<p>本研究データからは、患者さん本人を直接特定できる情報（お名前など）を削除して匿名化しますので、患者さんを特定することはできません。</p> <p>また、この研究によるデータベースは、行政あるいは透析医会が災害時対応を考える際の基礎資料となります。その場合でも、上記のとおり匿名化しておりますので、患者さんのプライバシーは守られます。</p>
研究組織	藤田医科大学
研究責任者	藤田医科大学 医学部 地域診療連携・内科学 主任教授 稲熊 大城
問い合わせ先	藤田医科大学 ばんだね病院内科 担当 稲熊 大城 電話 052-321-8171
当院情報管理者・当院担当者	公立西知多総合病院 腎臓内科 主任部長 久志本 浩子 電話 0562-33-5500